

アートプロジェクトによる地域・建築リノベーションの継続的発展性

「沙弥島アートプロジェクト by 神戸芸術工科大学」の実践を通して

CONTINUOUS COMMUNITY DESIGN BY ART PROJECTS

Shamijima Art Project by K.D.U. 2014

藤山 哲朗	芸術工学部環境デザイン学科 教授
かわい ひろゆき	芸術工学部ビジュアルデザイン学科 教授
戸矢崎 満雄	芸術工学部アート・クラフト学科 教授
谷口 文保	芸術工学部アート・クラフト学科 准教授
さくま はな	芸術工学部アート・クラフト学科 助教
中村 卓	芸術工学部環境デザイン学科 助教
大畑 幸恵	武庫川女子大学 短期大学部幼児教育学科 講師

Tetsuro FUJIYAMA	Department of Environmental Design, School of Arts and Design, Professor
Hiroyuki KAWAI	Department of Visual Design, School of Arts and Design, Professor
Mitsuo TOYAZAKI	Department of Arts and Crafts, School of Arts and Design, Professor
Fumiyasu TANIGUCHI	Department of Arts and Crafts, School of Arts and Design, Associate Professor
Hana SAKUMA	Department of Arts and Crafts, School of Arts and Design, Assistant Professor
Suguru NAKAMURA	Department of Environmental Design, School of Arts and Design, Assistant Professor
Yukie OOHATA	Department of Early Childhood Education, Junior College Division, Mukogawa Women's University, Assistant Professor

要旨

近年、アートプロジェクトを媒介とした地域活性化が盛んである。本学でも 2013 年 3 月から開催された「瀬戸内国際芸術祭 2013」以来、「沙弥島アートプロジェクト」として香川県坂出市を対象地として活動してきている。これまでの活動については本学紀要「芸術工学 2013」「芸術工学 2014」においても報告してきているので、本稿は 2014 年度の活動について報告するものである。

2014 年度は主として 2 つのプロジェクトを実施した。今年度は、芸術祭自体の開催年ではないので、芸術性の高い作家の作品を展示するのではなく、市民参加型の創作として、アートに関心を持ってもらうことを主眼にしている。

「アートのちからで壁画創生プロジェクト 2014」では、坂出市民美術館敷地内の庭園の塀にワークショップ形式で壁画を制作した。

「ART SETOCHI 2014 沙弥島アートプロジェクト」は瀬戸内国際芸術祭の一環に位置付けられるものであるが、芸術祭主会場である旧沙弥小中学校を会場に、市民が栽培したコスモスの鉢植えをモチーフとしたインスタレーションを制作した。

これまでのプロジェクトの参加者は、どうしても児童や高齢者などの時間に余裕のある人が中心だったが、今回は仕事をしている層を取り込むことが出来たことに意義を感じている。

Summary

Since the participation to the Setouchi Triennale 2013, we continue the art project activities 'Shamijima Art Project by Kobe Design University'. Achievements of these project were reported on bulletin of '2012' and '2013'. In 2014, we planned a couple of work shop projects and consider the way of continuous community design by arts and architectural works.

'SAKAIDE no Shio' the tide of SAKAIDE.

Wall painting project at Sakaide citizen museum. Old concrete block fence of museum garden was recoating by blue motif graphic. These motifs were abstracted from sea side scape of Sakaide.

'ART SETOCHI 2014' Installation art works.

'Cosmos project' and 'Together man project'.

Innumerable potted cosmos flowers were grown by Sakaide community residents and installed in the former Shami elementary school's classroom. Collaborators also create 'together man' figure and note a message on together man's body.

研究の背景および目的

近年、アートプロジェクトを媒介とした地域活性化が盛んである。本学でも2013年3月から開催された「瀬戸内国際芸術祭2013」において、「沙弥島アートプロジェクト」として参加し、多数の来訪者から評価を得ることができた。こうしたアートプロジェクトの特色は、単なる美術展示でも、建物をつくることによる地域開発でもない。両者が一体となったプロジェクトとして、ワークショップ等を通じ、美術のすそ野を広げるとともに、コミュニティの形成を促す、まちづくり的マネジメントという側面もある。したがって、こうした活動は、芸術祭の期間だけで終わる単発的な活動ではなく、継続性が重要だと考えられる。そこで2014年度は、坂出市におけるアートイベントの定着を目指した活動と、次回2016年国際芸術祭に向けた参加のコンセプトづくりのための基礎的調査を目的とした研究を行った。

2014年度プロジェクト

2014年度は主に、2つのプロジェクトを現地開催した。

- 1) 【坂出の潮 ー海のいろで壁に絵をかこうー】7月末。
坂出市民美術館庭園ブロック塀にペインティング。制作主体：市内中学校の美術部員、坂出市親子おてつ隊。
- 2) 【人を想う、故郷を想う。】沙弥島アートプロジェクト by 神戸芸術工科大学 2014年9月末。

市民が栽培した市花「コスモス」をモチーフに、旧小中学校でアートイベントを開催。プロジェクトは花の栽培を中心とした【コスモスプロジェクト】と、会場でのコミュニケーションを目的とした【トゥギャザーマンプロジェクト】の2部からなる。

以下に各プロジェクトの概要を報告する。

【坂出の潮 ー海のいろで壁に絵をかこうー】

「アートのちからで壁画創生プロジェクト2014」

制作：大畑+アートサポーター(本学学生、坂出市中学生)

制作スケジュール

7月12、13日：現地調査、地域住民ヒアリング(図1)。

7月19、20日：外壁地塗り。

8月3日、5日、6～9日：壁画制作(図2)。

8月12～16日：予備作業。

8月20日：完成披露(図3)。

2月15日：命名式。「青のワルツ」に決定。

プロジェクト概要

隣接する市民美術館と大橋記念図書館をつなぐ屋外庭園外壁に、坂出の海の風景から抽出された色彩をモチーフに、地域の中学生と共同で壁画を制作。



図1 改修前



図2 制作中



図3 完成作品

【人を想う、故郷を想う。】

「ART SETOUCHI 2014 沙弥島アートプロジェクト」

プロジェクト①【コスモスプロジェクト】

坂出市民の協力を得て、計460名が鉢植えワークショ

ップを行い、市花であるコスモス 1000 株を栽培。秋に
覧会場である旧沙弥小中学校に持ち寄り、鉢植えをモチ
ーフにした空間展示を行った。

制作スケジュール

7月20日、27日：種植えワークショップ(図5-6)

9月20日：展示ワークショップ

9月21日～28日：展覧会(図4、図7)

9月28日：関連イベント開催。お茶会、音楽の調べ。

プロジェクト②【トゥギャザーマンプロジェクト】

人型キャラクター「トゥギャザーマン」のオーナメント
に、プロジェクト参加者(コスモス栽培者、来館者)がメ
ッセージを表現(図8)。旧沙弥小中学校会場の教室に展
示した。モチーフとしたトゥギャザーマンの素材の段ボ
ールは、坂出市内の企業である「四国段ボール株式会社」の
協賛により提供されたものを用いた。

制作スケジュール

9月20日：コスモスプロジェクト参加者対象。

9月21日～28日：展覧会来場者対象。



図6 鉢植え育成プロジェクト参加者



図7 ポスター



図4 会期中会場



図5 鉢植え育成中



図8 トゥギャザーマン

研究記録の公開について

これらのプロジェクトの詳細については、本紀要以外に
も「沙弥島アートプロジェクト by 神戸芸術工科大学」
Facebook を参考にしていきたい。同ページには 2013

年プロジェクトから現在進行中の計画までが、時系列的に掲載されているので継続的プロジェクトの全体を理解していただくのに有効だと思われる。また、「想い、ともに咲く。」プロジェクトについては2015年3月に記録集を出版し、関係各所に配布している(註1)。

研究成果について

「アートプロジェクトによる地域・建築リノベーションの継続的発展性」という研究テーマに関して考察する。これまで沙弥島アートプロジェクトでは、2012年度から準備を始めた2013年国際芸術祭、2013年秋期展覧会、そして今回の2014年度と3期にわたり活動してきている。これらを地域コミュニティとの関連で振り返ると、第1期は会場のある沙弥島を主な対象地として活動を行い、作品制作・ワークショップには地域住民の参加も募ったが、中心となったのは小学生とその保護者であった。次に第2期は、国際芸術祭の認識を地域に定着させることを目的とした回顧展が主テーマであったが、その中の一つの展示企画においては市内の高校生による作品制作を行い、その過程で神戸を訪れて本学での制作作業を組み込んだ。

それに対して今回の第3期2014年度では、まず「壁画プロジェクト」では市民美術館・図書館という公共施設およびスタッフと関係を結ぶとともに、沙弥島の外に出て、坂出市内でのプレゼンスを示すことができた。また「コスモスプロジェクト」では、「コスモス咲かせ隊」と名付けた460名のサポートメンバーが参加することができた。そのメンバー構成の中には本学および市の主催者関係者も含まれるが、中心となったのは老人会や歌の会などの地域の自主活動グループであった。さらに沙弥島に隣接する幡の洲工業地区からは川崎重工、コスモ石油、四国電力、三菱化学、ライオンケミカル、YKKAPといった企業内のグループ参加を得ることができた。

このような経過からも沙弥島アートプロジェクトでの活動は沙弥島地区に集中するものではなく、坂出市としてのコミュニティ活動に育っていることが解かる。本来の主旨である瀬戸内国際芸術祭の開催地域としての特徴を考えると、ほとんどの会場が離島や集落などの旧来のコミュ

ニティが対象であるのに対し、高松市と坂出市だけが都市的な環境を備えている。しかし高松では都市スケールが大きすぎるために市とアートイベントという関係性は成立していないため、一体感の持てる坂出市のスケールは意義あるものといえる。

註1) 戸矢崎満雄、かわいひろゆき、藤山哲朗、さくまはな編、『想い、ともに咲く。』神戸芸術工科大学、2015年。

(図1~8)「瀬戸内国際芸術祭2013 沙弥島アートプロジェクト by 神戸芸術工科大学」Facebook ページ。
<https://www.facebook.com/瀬戸内国際芸術祭2013-沙弥島アートプロジェクト-by-神戸芸術工科大学-365306776881475/timeline/>、2015年10月5日アクセス。